

天台佛青連



発行元／天台仏教青年連盟

編集／布教広報委員会

発行所／〒372-0003 群馬県前橋市上佐鳥町 289-1 西光寺内

印刷所／〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社

郵便振替／天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字／第256世天台座主
半田 孝淳 祝下

平成28年
2月29日
発行

index

代表 挨拶	1
天台宗宗務総長 御挨拶	2
延暦寺執行 御挨拶	2
復興支援連盟合同ボランティア活動	3
兵庫結集	4



平成27年度 天台仏教青年中央研修会	5
第37回 東日本仏青親睦野球 栃木大会	6
天台宗防災士協議会	7
教区仏青活動レポート	8~9
陸奥仏青・栃木仏青・茨城仏青	



沖縄戦争殉難者慰霊行脚	10
仏法興隆花まつり 千僧法要	10
第50回 天台青少年比叡山の集い	11
インフォメーション	12
協賛金協力者御芳名	13~15
平成27年度常任委員会委員長報告	16



天台仏教青年連盟の公式フェイスブックを
始めました！
連盟行事をはじめ、様々な活動を宗内外問わず、
幅広く発信していきたいと思っています。
どうぞ宜しくお願い致します。

情報通信委員会

青年僧にできること

天台仏教青年連盟代表

光榮 純貴



天台仏教青年連盟の会報発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

平素より延暦寺一山をはじめ宗内寺院諸先徳各位、並びに仏青会員各位におかれましては、連盟の活動に対し、格別のご理解ご助力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて早いもので、昨年の四月に井藤圭順前代表より代表職を引き継ぎ、あと数ヶ月程で一年が経とうとしております。

顧みますと、代表就任挨拶として「皆様の要望に応えられる

迅速な行動」を誓い代表職を拝命致しましたところ、思いもよらず、その数ヶ月後の九月九日（十一日）にかけて「関東・東北豪雨」が発生致しました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げ、早期の復興を衷心よりお祈り申し上げます。

私の地元、茨城県常総市でも想像を超える甚大な被害を受けました。この豪雨の際、自治体も混乱の中、まだボランティアセンターが開設されていないのにも関わらず、各教区仏青の方々が各々の立場で、当日より情報収集や支援物資の搬送等、迅速な対応及び支援活動をご尽力戴きました。ご報告申し上げますと昨年十二月までの三ヶ月間で、延べ支援活動回数が四十六回、延べ活動人数が二百四十五名と、多くの会員の皆様にご支援ご尽力を戴きました。

被災者の方々の「心の痛み」に想いを馳せ、少しでも不安や苦しみを取り除いてあげたいと、時間を割いて遠方よりボランティアに駆けつけた仏青会員の

の行いこそ、まさに菩薩行であります。その菩薩行に対し、敬服の意を抱くと共に心より感謝申し上げます。次第でございます。

こういったボランティアへの迅速な対応をとつても積極的な支援活動においても、「青年僧だからできること」が我々青年僧の責務ではないかと思えます。

更に今後も、天台宗防災士協議会と連携し、お互い助け合いながら迅速且つ出来る限りの支援活動を目指して参りたいと思います。

此度の災害に対し、沢山の縁を通じて多くの仏青会員が復興支援の為に活動して頂きましたことを、この場をお借り致し、重ねて心より御礼申し上げます。誠に有り難うございます。

また、東日本大震災以降、毎年仏青連盟主催にて合同ボランティアを行っております。あれから五年という月日が流れようとしておりますが、復興は完全には成されたわけではございません。今年は、四月五日に宮城県

南三陸町歌津地区慰霊碑前「鎮魂の森」にて「東日本大震災物故者慰霊法要」を企画致しております。昨年までは毎年、労働・傾聴ボランティアを中心に行つてまいりましたが、今年は我々僧侶が今出来ること、また僧侶だからこそできる心のケアとして、初めての物故者慰霊法要を行う事と成りました。この法要を執り行うにあたり、遺族の方々と物故者への悲しみや思いを共有し、遺族の方々の生きる力の支えに少しでもなれば幸いと願っております。時節柄、此度の趣旨をご理解賜りたく、今私たちに出来る事に心身深く想いを胸にご賛同の上、全国の仏青会員の参加を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、仏青連盟の更なる発展の為、今後共変わらぬご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。会報発行にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



御挨拶

天台宗宗務総長

木ノ下 寂俊

天台仏教青年連盟会員の皆様方には、益々ご壮健にてご法務にお励みの御事とお慶び申し上げますとともに、「己を忘れて他を利する」との宗祖大師のみ教えを敷衍いただくべく、日頃の諸活動に対し、心から敬意を表する処であります。

さて、「祖師先徳鑽仰大法会」は第一期の「慈覚大師一千五百年御遠忌」を平成二十七年三月末日に魔事なく円成を迎え、四月一日には根本中堂において国持会の法要に引き続き、「祖師先徳鑽仰大法会」第二期の開闢法要を天台宗・総本山延暦寺両内局の出仕にて厳修させていただき、「祖師先徳鑽仰大法会」後半の七年間に亘る第二期へと、両内局一丸となつて取り組んでおります。

第二期では「恵心僧都一千年御遠忌」「伝教大師御生誕一千二百五十年」「相応和尚一千百年御遠忌」「伝教大師一千二百年大遠忌」と、まさに各祖師方の報恩並

びに慶祝の法要を勤める事に相成ります。

平成二十八年度は、六月十日に「恵心僧都一千年御遠忌」のご祥当を迎え、五月、六月に浄土系各宗派によります報恩法要を厳修いただくための準備を進めております。また、八月十八日には「伝教大師御生誕一千二百五十年」を迎えるに当たり、慶祝行事が計画されております。

「根本中堂大改修」につきましては、平成二十七年年度中には調査のための工事を終え、平成二十八年度からは十年に亘る本格的な工事に入る予定となりますので、仏青連盟会員の皆様方には「本末一如」「愛山護法」のお心持ちにて、より一層の御協力をお願い申し上げます御挨拶とさせていただきます。



御挨拶

延暦寺執行

小堀 光實

平成二十八年度の歳を迎えて早三カ月が経とうとしておりますが、天台仏教青年の皆様にはご清栄にて越年、日々法務日課に重ねて諸活動にご精励の事と心よりお慶び申し上げます。

更に総本山延暦寺に寄せられる細やかなご法助に対し心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年四月より祖師先徳鑽仰大法会第二期が開闢し、小職を支えてくれます水尾寂芳副執行以下、小寺照依・獅子王圓明・小森文道・小鴨寛俊・中山玄童の執行局員一同は、若さと実行力を活かし木ノ下寂俊宗務総長ご当局とともにその事業に鋭意取り組んで参りたく存じます。

扱て、昨年九月の関東・東北地方を襲った豪雨災害、中でも茨城県常総市の河川決壊による水害は想像を絶する事態で未だ記憶に新しい災害でした。行政による被災対処は云うに及ばず、その折も

各地から駆けつけた一般市民や学生によるボランティア復旧作業支援活動が際立ち、「色々な作業にあたって貰い本当に助かった」と無惨な状況に力を落とす中にあつて被災者は励まされた事の報道がされておりました。

その支援活動に天台仏青の諸兄が遠近を問わず、連日のように大水害の後始末にあたられたと報告を受け、改めてその取組に敬意を表するものです。

勿論ボランティア活動ばかりではありません。昨年新しく就任の光榮純貴代表のもと、全国教区仏青の積極的な活躍を大いに期待しております。

この一年何卒よろしくお願い申し上げます。

合掌

東日本大震災

復興支援連盟合同ボランティア活動

東海 仏青

宇都宮 典孝

平成二十七年二月二十六日、
仏青連盟第六回合同ボランティアが、福島県南相馬市にて開催されました。

活動といたしましては、午前中「千倉仮設住宅集会所サロ」に参加し、避難生活をされている方から色々な話を聴かせて頂きました。午後は、「小池西部コミュニティセンター」にて、「復興支援寄席」と銘打った落語及び太神曲芸の合同ボランティアに参加致しました。主に施設内清掃、会場準備、来場者の誘導等を実施致しました。

私はこの「連盟合同ボランティア」への参加は四回目になります。毎年午前中、仮設住宅集会所サロンにて傾聴ボランティアをさせて頂いております。その中で毎年お話をさせて頂ける方々の笑顔に力を頂いてお

ります。落語家の方をお招きし寄席を行う際には、終始笑いが絶えない公演となっております。来場者様からは「毎回来しみにしている」とお声を頂いております。

毎年ボランティア活動を通じて、復興支援、又その後の社会貢献に意義と可能性を感じる体験をさせて頂いております。

今後も、力になれる限り是非参加をしたいと思います。



天台宗専門法衣店

山科大西法衣店

〒607-8357

京都市山科區西野樺川町45-21

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
0120-568-024

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所

総延宗御
本膳務用
山寺序達

森忠法衣店

五代目 森 忠 兵 衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番



遠藤新兵衛商店

〒600-8334

京都市下京区油小路通六条南入

電話 (075) 351-1367

FAX (075) 351-1476

天台仏教青年連盟全国大会

兵庫結集

兵庫仏青 結集実行委員 幹 敬盛

去る平成二十七年十一月四・五日、天台仏教青年連盟全国大会・兵庫結集が姫路市にて開催されました。テーマは「光伝えよ法の灯」―相承と創造―。価値観が多様化し変化の激しい現代において、青年僧に求められる変革と受継ぐべき普遍の教えの中に何を見出すかを考えるべく企画されました。寺院をメイン会場とするのは最近の結集では珍しく、山上や懇親会場への移動



講師にお招きした嘶家・桂南光氏は人気・知名度は言うに及ばず、人間国宝・故桂米朝氏の系譜に連なり、テーマに相応しい講演を頂くことができました。落語界でも話芸の相承と共に、より良い嘶を目指した創造が行われていることを実演で見せて頂けたのは貴重な体験でした。

その後圓教寺様のお計らいにより、特別ご開帳頂きました摩仁殿のご本尊である如意輪観音像を拝観した後書写山を下り、会場を姫路駅南側の「姫路キヤッスルグランヴィリオホテル」に移してご来賓の方々と共に全国から集った青年会の仲間たちが親睦を深めることができました。その



席では特別ゲストの天台鳳梨ハーモニーのメンバー四名により楽しい時間に華を添えていただきました。主席である兵庫教区法泉院住職・長谷川慶悟師は「コントラバス和尚」と呼ばれ、音楽による現代布教を正に実践されていらつしゃいますので、単なる音楽会ではなく布教の時間であったことにも皆様お気づきいただけたことと思います。

明けて研修二日目も引き続き快晴となり、ホテルでの法楽・事前解説の後、平成大修理を終えた世界遺産・姫路城の見学が行われました。平日の早朝にも関わらず大勢の観光客でごった返す中の見学でしたが、古建築の技術が伝承され次代に継承されたその姿を目の当たりにし、多くの人の思いが結実した「天下の名城」を再び間近に見て地元民ながらも胸が熱くなりました。



ただ解説を頂いたガイドさんによれば、現在の白さも二年ほどで落ちていくそうです。

今回の結集については、兵庫仏青にて二年前から実行委員会を組織し議論を重ねながら企画・準備・運営が行われてきました。兵庫仏青の持ち味を活かした大規模な結集でありましたが、近年提言されております結集のコンパクト化による全教区仏青開催も進められるべき課題かとも感じました。

末文ではありますが今回の兵庫結集に際し物心両面にお支え頂きました多くの方々に深く感謝申し上げます。



天台宗の共済

かけがえのない寺院建物
 収容動産を火災や水災等の
 様々な災害からお護りする

天台宗災害補償制度

沈香 白檀 各種焼香 本舗
 法要・行事等 記念品「香」受け賜ります

総本山 延暦寺御用達
風間薫芳堂

〒607-8454
 京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
 電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

法衣金 京法衣・京仏具
安 藤
 京都本店 〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入
 TEL0120-29-8161 FAX075-525-2359
 東京店 〒105-0014 東京都港区芝2丁目15-2
 TEL0120-3232-09 FAX03-3454-3251
 福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町12-7
 TEL0120-2143-22 FAX092-291-2144

平成二十七年 天台仏教青年中央研修会

天台宗務庁 社会部社会課 課長 高見 昌良

中央研修会の講義を聴いて

四国仏青 米谷 向史

平成二十七年の天台仏教青年中央研修会は、「臨床宗教師の誕生とその意義」と題し、龍谷大学文学部真宗学科教授鍋島直樹氏を講師に迎え開催させていただきました。

毎年、中央研修会の開催については、天台宗として、今後の宗を担っていく青年僧侶に今学んでいただきたいことは何

であるか、天台宗内の内容に固執することなく、広く社会の時事も捉えつつ検討し、決定しております。検討をする中で、本年は宗教者として社会と関わる新たなあり方を模索してもらえるような研修を目指そうとの方針が決定し、講義内容を検討している中で、臨床宗教師の存在を新聞紙面で知り、龍谷大学にお伺いをし、鍋島

先生を紹介いただきました。

臨床宗教師は、東日本大震災以降、病院、社会福祉施設、被災地などの公共空間で、宗教勧誘を目的とせず、相手の価値観、人生観、信仰を尊重し、悲しみに寄り添うとともに生きる力を育む宗教者の社会実践の形として注目を浴びつつあります。東北大学を中心に始まった臨床宗教師養成研修も現在では、龍谷、上智、高野



山、種智院大学などでも養成研修が開講され広がりをみせています。

今回の講演が、今後の宗教者のあり方のひとつとして、各研修生の琴線に触れる事ができたのであれば幸いです。

天台宗として、天台仏教青年中央研修会のみではなく、主催の研修会が、研修を受ける教師や寺院婦人にとって、新たな価値観、視点、考え方を得る一つの機会となる事を大切な目的とし、今後も計画していきたいと思えます。

十二月十日延暦寺会館において全国から青年僧が集まり、中央研修会が開かれました。講義は龍谷大学の鍋島教授による臨床宗教師の話でした。それは天災・人災における被害者に対し、宗教の垣根を超え、精神的ケアする人材を育てるプログラムを宗教者に施すというもので、教義を押し付けるのではなく、あくまで相手を尊重し寄り添うことを重視するという考えが大変

新鮮でした。とかく宗の為、寺の為になりがちな考えを覆し、改めて宗教は人の為にあるということを再認識しました。時には僧侶であることすら忘れることも忘己利他の精神に適うのではないかとつくづく考えさせられる有意義な研修でした。



第三十七回 東日本仏青親睦野球 栃木大会

東日本仏青
親睦野球大会に参加して

栃木仏青 池田 宗道

茨城仏青 鈴木 俊秀



今大会は、数日前からの台風の影響で野球大会の開催が危ぶまれ、当日の朝までその動向が気ばかりでしたが、なんとか雨には降られず無事試合が行われることとなりました。

二日目、午前中は三チーム・四リーグの予選、午後はそこから勝ち上がった四チームでの決勝トーナメント戦を行いました。

平成二十七年五月十一・十二日に栃木仏青主催の東日本親睦野球大会が行われました。

各仏青様より約一六〇名のご参加を頂き、親睦がより深まった二日間となりました。

初日には、宇都宮市のホテルニューイタヤにて懇親会・抽選会が行われ、抽選の際には、代表者様に一言ご挨拶を頂戴いたしました。試合への熱い思いや、ユーモア溢れるものなど様々なご挨拶で楽しいひと時が過ごされました。

今大会は、数日前からの台風の影響で野球大会の開催が危ぶまれ、当日の朝までその動向が気ばかりでしたが、なんとか雨には降られず無事試合が行われることとなりました。

二日目、午前中は三チーム・四リーグの予選、午後はそこから勝ち上がった四チームでの決勝トーナメント戦を行いました。



写真提供：南総仏青

した。また、今大会は副賞として上位三チームには宇都宮餃子が贈られました。

去る五月十一日～十二日に宇都宮市において第三十七回親睦野球栃木大会が行われました。ホテルで受付を済ませる頃には各仏青も続々と到着し、「久しぶり」と再会を喜ぶ声が聞こえてきました。久々に会う同級生や先輩・後輩と楽しく会話をしている、いつの間にか初めて会う方とも懇親を深めていました。

野球大会は晴天に恵まれ、ラジオ体操の後、審判の「プレイボール」という大きな声で試合開始となりました。

私ども茨城仏青は走・攻・守のバランスの良いチームで試合に臨み、アウトを取る度に、点が入る度に、ベンチからも大きな声援が飛び、選手達も皆笑顔でした。終わってみれば準優勝で、思い出に残るすばらしい野球大会となりました。

空地水火

品質第一をテーマに、自然と調和を大切に
製品作りに励んでまいります。

営業品目 卒塔婆 角塔婆 経木塔婆 ゴマ札 各種特許あり



塔婆製造販売
(株)協和木工所
東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL 0425-97-0732
FAX 0425-97-1816

仏像 仏具 念珠 記念品

(株)高橋法輪堂

〒120-0001

東京都足立区大谷田 3-8-12

TEL03(5849)3853 FAX03(5849)3863

総本山延暦寺 御用達

中末法衣店

〒606-8287

京都市左京区北白川上池田町12-1

TEL 075-723-8865

FAX 075-723-8867

天台宗防災士協議会

天台宗防災士協議会 会長 井藤 圭順

いつも天台仏教青年連盟におかれましては、天台宗防災士協議会の諸活動にご協力・ご支援をいただき、ありがとうございます。

平成二十七年年度の当協議会は、『伝教大師最澄上人の「忘己利他」の精神を戴し、防災士として知識・技術の更なる向上を行い、天台宗・教区・地域社会における防災・減災・備災のリーダーとして活動する。』を活動方針のもと、

1. 防災士の知識取得・技術向上に関する事業



2. 防災士増員に関する事業
3. 天台宗・各教区・宗内諸団体が行う災害対策協力事業
4. 日本防災士会・地域の災害対策協力事業
5. 災害発生時における支援活動に関する事業
6. 協議会運営に関する事業などの事業計画を遂行しています。



方々に啓発活動を行っております。

また、平成二十七年九月発災の「関東・東北豪雨」においても、連盟・各教区仏青と協力する中で大きな被害のあつた茨城県・栃木県・宮城県にてボランティア活動を行っております。

災害はいつ起こるかわかりません。水害・雪害・今後発災することが想定されている大地震に備えるためにも防災士の増員は欠くことができません。



協議会までご連絡をお願いいたします。

また、天台宗・当協議会が主催する養成講座以外で防災士資格を取得された方は、ぜひ、入会をお願いいたします。



天然石
和紙製品

来栖美商

〒309-1705
茨城県笠間市東平2丁目12番14号
TEL (0296) 71-9633
FAX (0296) 71-9632

心をかたちに、感動の度

ASHOKA アシカ・アース 株式会社ビーエス観光福知山営業所
観光庁長官登録旅行業第347号/総合旅行業務取扱管理者: 岡村正
日本旅行業協会(JATA)会員/国際航空運送協会(IATA)公認代理店

☎620-0940
福知山市駅南町南三丁目57番地
駅南第一ビル2F
TEL: 0773-23-5055 FAX: 0773-23-5303
E-mail: ashoka-fukuchiyama@ec4.technowave.ne.jp

お香  みつり花

☎ 520 - 0524
滋賀県大津市和邇今宿 384 - 3
電話 077 - 594 - 1845
FAX 077 - 594 - 2151

関東・東北豪雨水害ボランティア報告

陸奥仏青 会長 北峯 智善



九月九日に日本列島に上陸した台風十八号に伴う豪雨によって関東・東北各地で河川が氾濫し多くの家屋が浸水するなど大きな被害をもたらしました。陸奥教区内においても九月十一日に宮城県内大崎市、大和町など



の広範囲にわたり被害が発生し、各自治体でボランティアセンターが開設されるなか陸奥仏青として九月十七日に支援活動を実施しました。

当日は大崎市内の堤防が決壊し約四〇〇もの世帯が浸水被害を受けた地域での活動となりました。午前中は床上まで水に浸ったお宅での畳の搬出作業、午後からは道路の復旧・清掃、



個人宅の庭整備のお手伝いをさせていただきました。この地域はほとんどの家屋が被災されたこともあり、道路脇などに使用出来なくなった家財が積みまれている光景を至るところで見ました。

東日本大震災の際も同様の支援を行ってききましたが、活動するうえで大切なのは被災された人の立場になり、寄り添う気持ちを持つことが重要で

台風18号情報

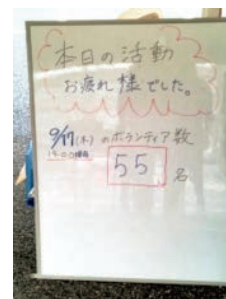
気象庁「災害時気象報告」より

9月7日	21時00分	南の海上で発生
9日	6時00分	中心気圧990hPa
9日	9時30分頃	愛知県上陸
9日	15時00分	温帯低気圧に変わる
10日	0時20分	栃木県に「大雨特別警報」
10日	6時過ぎ	常総市 鬼怒川で越水
10日	7時45分	茨城県に「大雨特別警報」
10日	12時50分	常総市 鬼怒川で堤防が決壊
11日	3時20分	宮城県に「大雨特別警報」

—総降水量— (7日～11日まで)

栃木県日光市	647.5ミリ
宮城県丸森町	536.0ミリ

はないかと思っています。自分の都合を優先させていないか、独り善がりの支援になっていないかと自己を見つめながら、被災された人の想いを最優先に考え、求められていることは何かということを肌で感じとりながら活動が出来ればと思います。



三法堂

天竺宗本山通称御用寺 最高の京仏壇

京都市中京区三美小橋東入

電話 075(251)0553(代)

FAX 075(251)11407

各宗本山御用達

各宗珠数製造販売

お珠数専門の老舗

カ 小野珠数店

〒604-5804 京都市中京区寺町通蛸薬師下ル

電話 075(222)2608

FAX 075(256)3288

絆創造業 平安閣グループ

平安会館

事前相談受付中

052-916-1251

葬祭部 平安会館 相談 検索

栃木仏青 会長 霜村 裕寛

台風十八号がもたらした大雨は、栃木県においては日光市・鹿沼市・壬生町・小山市・栃木市と、広い地域に多大な被害を及ぼしました。

私の務める栃木市では、市の中心を流れる巴波川（うずまがわ）と永野川の流域において、多くの床上床下浸水の被害があり、ボランティアのほとんどは床上まで被害のあった住宅の、被災家財の搬出が主となりました。そんな中で、私が訪れたのは栃木市吹上町の、永野川の支流赤津川沿いの一軒のお宅でした。作業の中心は、住宅内ではなく庭の泥を除去するというものでした。



が、三週間近くが経過してなお乾ききっていない厚さ二十センチを超え

る泥を掘り出し運ぶ作業は、予想以上の重労働でした。



家主の方の話では、栃木市内に避難勧告が出た午後九時半のはるか前、午後五時ごろには水は土手を超え、ずぶ濡れになりながら学校へ避難をされたそうです。また、それ以外の地域の方々も口を揃えて仰られたのが、「避難の放送は雨音で聞こえなかった」というものでした。今後の課題を多く学んだ災害であったと思います。



茨城仏青 会長 志鳥 融禅



台風十八号の影響により各地で経験したことのない豪雨にみまわれ、常総市では増水した鬼怒川が決壊し、甚大な被害を受けました。大量の土砂等による家屋の床上浸水、車両の浸水のみならず農地の浸水により農作物も被害を受けました。

現地では常総市社協職員と共に住民からの要望をうけ活動を行いました。水が引いた地域で



は家屋の片付けが始まり、ボランティア開始当初は、転倒した大型家具の搬出が主要望でした。その後、畳の搬出、屋内・屋外の泥かき、そして床下清掃と日々要望が変化し、活動内容が前日に決まるなど、長期的なボランティア計画を立てることが難しい状況でした。私たちは先の震災で津波の恐ろしさは十分に学びましたが、堤防決壊がこれほどまで被害を及ぼすとは本当に想定外でした。

現在は、県内はもとより県外からもボランティアをはじめ、多くのご支援をいただきました。お蔭で復興が進んでまいりました。全国仏青会員の皆様におかれましては被災地復興にご尽力下さり誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。



誠実と真気で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製
天然石厄除開運腕輪御守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

天台宗防災士協議会

防災士とは？

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が(資格)認証した人です。

資格を取得し、災害時の活動や災害被害を減らすために一緒に活動しましょう!!

詳しくは下記事まで
会長 兵庫教区 井藤圭順
Tendai.bousaishi@gmail.com

金襴錦字・絵馬・木札・紙札・記念品・製造販売

全国社寺 授与品 調度品 総合奉産

奉じる心を大切に

東和奉産株式会社

本社
〒601-8348 京都市南区吉祥院親音堂町1
TEL (075) 691-3000 FAX (075) 691-3300
Email info@towahosan.jp HP <http://www.towahosan.jp/>
北関東営業所
〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町
TEL (029) 297-8077 FAX (029) 297-8076

沖縄戦争殉難者慰霊行脚

群馬仏青 会長 藤井 祐幹

平成二十七年五月七日から八日にかけて、第十四回沖縄戦争殉難者慰霊行脚に参加しました。ひめゆりの塔でも有名な沖縄戦ですが、本土決戦の捨て石となり、沖縄本島で約二〇万人の犠牲者を出しました。その殉難者の慰霊を願い、総勢約八〇名が参加致しました。

一日目は、午後五時より沖縄念法寺様の道場をお借りして、秋吉実行委員長の導師のもと、回向法要にて戦没者の追善供養を行いました。二日目は、晴天の空の下、午前八時に奥武山公園護国神社に集合し、藤波大阿



闍梨の先達により約二〇キロの行程を行脚させて頂きました。



その道中で、真和の塔・糸満の塔・山吹の塔・米須忠霊塔に立ち寄り、献花や読経を行い、最後の終着地である平和祈念公園では木ノ下宗務総長を導師にお迎えし、天台宗主催による回向法要を執り行わせて頂きました。

歩くだけとはいえ本州の人間には沖縄の暑さは厳しいです。しかし、現地の念法真教様が移動休憩場所を各所に配置して下さい、マイクロバスも同行して頂きましたので、緊急事態や熱中症対策も万全で、安心して行脚できたと実感しています。

年を追う毎に行脚することは大変になります。しかし身体

自由が利く限り、この慰霊行脚に参加し、物故者を供養したいと思えます。



千僧法要を経て

東海仏青 余吾 昌憲

平成二十七年五月二十六日、全国の各宗派の青年僧の方が集結し、奈良県東大寺にて仏法興隆花まつり千僧法要が厳修され、東日本大震災及び各地災害復興祈願、また災害にあわれた方々への慰霊法要として執り行われました。

私自身この法要は、仏青に入って間もない中での参列となり、他宗の方々との交流ができ、いい体験をさせて頂けたのだと思っております。

大仏殿へと続く参道は多くの参拝者や奈良公園内の鹿で埋め尽くされており、その中を数百人の青年僧が進み、まず天台宗による声明にて散華を行いました。それに続いて日蓮宗、真言宗、曹洞宗と他宗派の法要をじかに見る事ができ、とても素晴らしい貴重な時間を体験させて頂きました。

私はこの法要を通して、宗派を超えて皆が同じ目的で集まり、心を一つにして願ひ祈るこ

とができるのだということを実感いたしました。

こうした祈りが今も苦しんでいらつしやる方々の苦悩を少しでも和らげ、心に安らぎを与え生きていく糧になるのではないかと思います。その様な法要を大仏殿の盧舎那仏の鎮座される蓮台で行えたこと、そしてこの法要に参列できたことはとても素晴らしく、とても意義のある法要であつたと思います。

今後ともこういった祈りを持続させていき、次世代の方々にも繋げていくことが、仏法興隆にも繋がっていくのではないのでしょうか。

そのためにも仏の教えを学び実践し日々精進していく次第でございます。

第五十回 天台青少年比叡山の集い 私たちの使命、青少年教化の実践

実行委員長 小林玄超

私達は、青少年の育成教化活動の一環として、天台宗と比叡山延暦寺の共催の下、比叡山において小中学生を対象とした研修を夏休みに開催しています。

昭和四十一年に始まった「青少年比叡山の集い」は長年に亘り多くの諸先輩方に支えていた

だき、本年五十回の節目の年を迎えました。今回、五十周年を記念して三十周年の際に延暦寺会館前に建立させていただいた「平和地藏尊」と同様のお地藏様を西塔・横川に建立させていただきますました。

この五十年の間に一万人を超す研修生が祖山にあり、日常とは異なる生活の中で研修を行ってまいりました。本研修は「規律と合掌」をテーマとしており、発心会や坐禅、平和の祈りへの参加といった行事だけでなく、食物への感謝・挨拶をする・靴を揃えるなど一般生活の基礎となることが大切であると指導しております。

研修生たちを指導する立場である我々リーダーは、青少年教化の



使命と責任を抱きつつ研修生と共に一つの行事に対して全力で向き合い、共に成長する機会と捉えて実践しております。二泊三日という短い研修期間ではありますが、研修生を指導することと逆に教えられることばかりであります。研修生・リーダー共に比叡山で学んだことが今後の貴重な経験となることを願っております。



皆さんも研修生と共に、本気で泣いて笑って最高の夏の思い出を作りませんか？
全国から熱意あるリーダーの参加を期待しております！

神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷
ふくさ・進物品・お誂え全般 卸

有限会社 ヤマゼン

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町3-1-15
ユーアイビルディング6F
TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552

井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
電話 075-365-0001(代) FAX 075-353-7021
東京店/東京都新宿区三栄町11-6
電話 03-3358-1500(代表)

総本山延暦寺御用達

藤 安田念珠店

〒604-8072
京都市中京区寺町六角角
TEL (075) 221-3735
<http://www.yasuda-nenju.com/>
京都駅店(ザ・キューブ店/ポルタ店)
京都高島屋店/日本橋三越本店店

全国大会「北海道結集」のご案内

平成28年10月12日(水)
ロイトン札幌

日本は自然の豊かな国です。しかし東日本大震災の傷跡もいまだ癒えず、また毎年のように起きる異常気象、自然の力の前に人間は無力なことを思い知らされます。

そんな中で自らの利便さを追い求め続ける人間達、はたしてそれで本当に良いのか。

北海道でも原発の再稼働や近県の新規建造の影響問題をかかえております。大変微妙な問題で皆個人としては様々な考えがあると思いますが、これからの地球の未来を考えた時、天台僧侶としての答えはどうか。

自然・動物・人間、みんな地球の上で生かされている。

そこで、平成28年には、「**今だから考える自然との共生～ぼくらもみんな生きています～**」をテーマに旭山動物園園長・坂東 元 氏、大正大学元学長・多田 孝文 師を招き講演会を開催し、〈山川草木悉有仏性〉改めてこの意味を再確認できる機会になればと思います。

仏青会員各位には、ご多用とは存じますがようお願い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

〈北海道仏青 会長 山口礼雄〉
〈北海道結集委員長 岡 康照〉

第38回 東日本仏青親睦野球 福島大会のお知らせ

【大会日程】

平成28年5月16日(月)～17日(火)
・16日／懇親会 ・17日／野球大会

【大会会場】

いわせ運動場(2面)
いわせグリーン球場(須賀川市畑田地区)

【懇親宿泊会場】

ホテル 華の湯
(福島県郡山市熱海町熱海五丁目 8-60)

★今大会開催にあたり、福島仏青では各教区仏青会員が更なる親睦を深め益々仏青活動が隆盛することや、震災から復興の道を歩む福島の今の姿を発信すべく大会を開催致します。
福島仏青会員一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。平成28年5月16日～17日は是非福島の方へお問い合わせのうえお越し下さい。

【問い合わせ】

福島県天台仏教青年会事務局

天台仏教青年連盟HPの ご案内

<http://www.t-y-b-a.com/>
または『天台仏教青年連盟』で検索

天台仏教青年連盟HPでは、天台宗青年僧が連盟の活動、また各教区仏青の活動状況収集のツールとしては勿論、一般の方々にも青年僧の様々な活動を知って戴けるよう、諸活動を掲載しております。

また、「Q&A」も順次回答を増やしていき、会員の布教活動の一助、そして一般の方々の興味として充実を図っております。

近年では、複数仏青の合同行事も開催されたりと活動も多様化してきております。これからはボランティア活動等、教区の垣根を越えた横の繋がりが必要となってくるので、会員相互の情報交換ツールの一つとして活用戴ければと考えております。会員の皆様には、是非各仏青の活動を報告して戴きますよう、ご協力をお願い致します。

〈情報通信委員会〉



平成27年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

●ネパール地震義援金…………… 合計456,154円
【寄託先】日本赤十字社 …… 421,784円
赤い羽根共同募金 …… 34,370円

●関東・東北豪雨義援金…………… 合計1,409,189円
【寄託先】日本赤十字社 …… 1,109,189円
茨城県共同募金会 …… 100,000円
宮城県共同募金会 …… 100,000円
栃木県共同募金会 …… 100,000円

●連盟地球救援募金…………… 合計859,270円

合計…………… 2,724,613円

ご協力いただきました各仏青様に感謝いたします。
今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈救援委員会〉

※上記の支援金・募金は平成28年1月末日現在です。

天台仏教青年連盟

協賛金協力者御芳名（敬称略）

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



天台宗務庁		天台宗宗務総長	木ノ下 寂俊	総務部長	阿部 昌宏	法人部長	長山 慈信	財務部長	田中 祥順	教学部長	中島 有淳	社会部長	角本 尚雄	一隅を照らす運動 総本部長	横山 照泰	延暦寺執行	小堀 光實
宗議会議員 (寺籍簿順)		九州西教区 青龍寺	藤 光 俊	三岐教区 東光寺	坂本 実仁	東海教区 延命寺	村上 圓竜	北陸教区 翠雲寺	岩尾 照尚	近畿教区 本山寺	百 濟 寂仁	兵庫教区 八葉寺	國岡 恵心	岡山教区 千光寺	葉上 観行	四国教区 松岳寺	永合 韶俊
東京教区 大圓寺		寺本 亮洞	玉田 法信	北総教区 東榮寺	細野 舜海	南総教区 観明寺	埼玉教区 福正寺	大澤 貫秀	群馬教区 東漸寺	河合 祖信	群馬教区 妙見寺	小川 晃豊	茨城教区 如意輪寺	船戸 俊宏	張堂 完俊	坂本 圭司	藤 光 俊

山岡智恢 滋賀教区 石垣坊	教区宗務所長 (寺籍簿順)	富樫和廣 山形教区 柏山寺	鮎貝宗城 陸奥教区 観音寺	林光俊 福島教区 金礼寺	柴田立史 栃木教区 光樹院	柳澤最伸 栃木教区 圓林寺
秋吉文隆 九州東教区 文殊仙寺	木村俊雅 四国教区 長尾寺	見上知正 山陰教区 大日寺	永宗幸信 岡山教区 本性院	荒樋勝善 兵庫教区 白毫寺	兼平明観 近畿教区 松見寺	若林節哉 京都教区 高正寺
杜多徳雄 東京教区 法藏院	榎本昇道 神奈川教区 寶塔寺	岩田真亮 信越教区 領法寺	松浪圓應 北陸教区 國分寺	柴田真成 東海教区 高田寺	森喜良 三岐教区 常住寺	甘井亮淳 九州西教区 大善寺
千葉亮賢 陸奥教区 満福寺	矢島義謙 福島教区 観音寺	源田俊昭 栃木教区 龍泉寺	酒井貫全 茨城教区 圓滿寺	三浦祐俊 群馬教区 長福寺	木本清玄 埼玉教区 福正寺	高橋隆叡 南総教区 能満寺
吉山亮公 岡山教区 明王院	清水谷善英 兵庫教区 清水寺	井藤圭順 兵庫教区 高家寺	石川智海 近畿教区 宗泉寺	宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方	山口道雄 北海道管内 天祐寺	清原正田 山形教区 立石寺

九州西教区 種因寺 高倉聖法	三岐教区 華嚴寺 久保寺美好	東海教区 根福寺 林敬順	東海教区 明光院 酒井妙照	東京教区 圓通寺 瀧良英	東京教区 龍眼寺 市原孝信	東京教区 眞覺寺 梅井秀明
北総教区 長福寺 鈴木晃信	南総教区 笠森寺 小川長圓	南総教区 行元寺 市原淳田	埼玉教区 長福寺 岩本教裕	群馬教区 西光寺 谷晃昭	群馬教区 乘明院 真木妙澄	群馬教区 常圓寺 綾小路乗俊
群馬教区 養壽寺 浅若祐琴	茨城教区 西蓮寺 鈴木貞舜	茨城教区 萬福寺 熊岡明然	茨城教区 如意輪寺 寺門俊明	陸奥教区 東雲寺 山田清隆	岡山教区 95の2 實性寺 信越教区 45 光明寺 埼玉教区 137 長福寺 群馬教区 125 金剛院 陸奥教区 39 法泉寺	
天台仏教青年連盟 代表 表 光榮 純貴 副代表 表 隈井 修道 副代表 表 中村 隆広 事務局次長 表 谷 晃仁 事務局次長・庶務 二見 亮覚 事務局次長・会計 清水谷善誠 事務局次長・渉外 武 円超 事務局次長 加藤 邦宣 会計監査 吉山 亮仁 会計監査 清原 要田	布教広報委員会 委員長 鷹羽 圓裕 委員長 志鳥 融禅 近藤 澄人 南方 俊彰 荻原 観宏 服部 諦圓 菊池 暁昇 中村 隆広 吉山 亮仁 担当役員 員					

法衣・稚児衣装・仏具荘厳品
贈答記念・授与品

株式会社 鈴木法衣店

東京店・埼玉店フリーダイヤル
TEL 0120-55-0369

東京店 〒110-0015
東京都台東区東上野6丁目8番8号
FAX 0120-44-7560

埼玉店 〒345-0047
埼玉県北葛飾郡杉戸町高野東1丁目15-7
FAX 0120-66-5966

ホームページ
<http://www.suzukihouten.jp>

堂宮大工 大都流

株式会社 西嶋工務店

代表取締役 宮大工 西嶋 靖尚

兵庫県姫路市大津区天神町2-73-5
〒671-1131 TEL 079-236-4881
<http://daiku.iwish.jp/>



結集研修委員会

委員長 兵庫

大塚 貫哲



— 担当 —

 本山・京都・兵庫・
九州東・群馬・北海道

結集研修委員会の最大の担務である天台仏青連盟全国大会兵庫結集を、十一月四日、五日の日程で兵庫県姫路市にて開催しましたところ、二百名以上の参加があり、盛会にて円成することができました。

結集開会式、法楽、講演を書写山園教寺にて実施し、懇親会を市内のキヤッスルホテルで行いました。

大会テーマは「光伝えよ法の灯」―相承と創造―としました。私たち天台僧は祖師先徳の御教えを受け継ぎ次の世代に引き継いでいくのは勿論ですが、時代にあつた宗教活動を創造し発展させていかねばならないからです。

講演では、嘶家桂南光氏にご講話いただき、懇親会で天台フィルの演奏をお聴きいただき、移動研修で姫路城を見学いただきました。参加者には、様々な相承と創造をご覧いただき、その必要性を感じ、志を高め、各自の実践につなげていただけるのではないかと存じます。

救援委員会

委員長 栃木

霜村 裕寛



— 担当 —

 近畿・神奈川・南総・埼玉・
栃木・福島・山形

先ずは、九月に起きました「関東・東北豪雨災害」においては、各教区仏青より大変多くの浄財や直接のご支援を頂き、委員長としてまた被災教区会長として、心よりの感謝を申し上げます。また本年度も、「地球救援募金」に対する多大なご支援に感謝致します。

救援委員会とは、活動が無いことが望ましいことであります。しかしながら、近年は台風や豪雨豪雪、火山活動など増加傾向にあり、それら多くの災害に対しての「備えの高度化」が必要不可欠であります。こうした変化に対して、当委員会では防災士協議会を始めとした他団体との連携を構築し、活動の主体である各教区仏青会員の皆様が、速やかに判断し行動に移る事が可能になるよう、情報共有の迅速化を目的とし、「救援マニュアル」の改訂、及び情報網の整備に努める所存です。

今後ともご支援をよろしくお願い致します。

情報通信委員会

委員長 岡山

藤村 憲龍



— 担当 —

 岡山・山陰・九州西・
三岐・東京・陸奥

平成二十三年度に「情報通信委員会」と名称を変更して以来、ホームページの更なる充実を図っております。

連盟の諸活動、各仏青活動を順次掲載し、全国の会員には自教区仏青の諸活動の充実に繋げて戴くこと、また近年多発しております自然災害の被害情報の共有の場としてや、ボランティア活動の募集・報告のツールとして活用いただけるよう、日々更新を行っております。

また、継続活動として各仏青会員ご協力のもと「Q&A」の回答を増やしていき、会員の布教活動の一助となるよう、そして一般の方々には天台宗のみならず仏教に興味を持って戴けるよう掲載を順次進めております。

会員の皆様には、連盟HPの閲覧は勿論、各仏青活動を多く報告して戴き、HPの益々の充実に協力宜しくお願い致します。連盟HPアドレスは十二頁に記載しておりますので、ご参照下さい。また、現在連盟公式の「blog」開設を準備中です。ご期待下さい。

布教広報委員会

委員長 東海

鷹羽 圓裕



— 担当 —

 滋賀・四国・東海・北陸・
信越・北総・茨城

今年度は先ず、連盟役員及び代議員改選により臨時号を編集しました。新体制を紹介し、そしてここに定例の本誌を編集しました。

内容においては特に九月に発生しました「関東・東北豪雨」について大きく取り扱いました。被災教区仏青による、被害状況やボランティア活動の報告を掲載しております。その他のボランティア報告と同様に写真を多用する等、伝わり易くしました。

また、従来通り各行事の報告や今後の告知も記載し、広く仏青活動が周知されるよう努めました。これからも連盟全体の事業はもとより各教区仏青の活動にも幅広く対応していきたく存じます。

編集発行にあたっては多くの方に記事執筆等のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。今後も多くの方に愛読頂ければ有り難く、より良い紙面作りを心掛け活動していきます。皆様方には引き続き、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

編集後記

会報誌作りも便利な時代になりました。一昔前は手書きの原稿を持ち、印刷会社を行ったり来たり。今ではパソコンに向かえば様々な打ち合わせができてしまいます。しかし、委員の皆様が一堂に会しての委員会では音の無いそれよりも貴重なご意見を沢山聞くことができました。

本年は鷹羽委員長のもと紙面作りを行ってまいりました。光榮代表の「青年僧にできること」は仏青活動において、とても重要なことだと思えます。本誌では結果・ボランティア等、全ての記事で「仏青らしさ」「青年僧らしさ」を大切にしてまいりました。

本誌発行にあたり、寄稿くださいました各仏青の皆様、福島カラー印刷様には大変お世話になりました。今後より良い会報誌となるよう委員一同心がけてまいりますので、ご愛読いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

布教広報委員 志鳥 融禪